

平成30年 東部地域合同地域振興会議議事概要

- 日 時** 平成31年2月7日(木) 13:30～15:00
- 会 場** 福部町コミュニティセンター2階講堂
- 出席委員** 国府地域振興会議：森原喜久、山崎豪太郎、山田準二、田中道春、正木直志、森田わか子、
(敬称略) 木下敏明、桑原英樹、安木秀明、岸本武司、山根玲子、澤田寛子
- 福部地域振興会議：南部敏、小谷孝文、岸本正枝、上山弘子、平田正雄、北村重政、
若狭さつき、早島岳大
- 事務局** 国府町総合支所：竹氏支所長、岸田副支所長兼地域振興課長、前田産業建設課長、
上田市民福祉課長、吉田地域振興課課長補佐
- 福部町総合支所：平戸支所長、石脇副支所長兼地域振興課長、本家産業建設課長、
森市民福祉課長、米澤地域振興課課長補佐

○ **あいさつ** 南部福部地域振興会議会長、森原国府地域振興会議会長

○ **出席者紹介** 名簿順に各自が自己紹介

○ **議 題**

(1) **概要説明**

福部事務局：「福部地域の振興事業」について、パワーポイントを用いて説明

国府委員A：人口は減少しているのに、なぜ、世帯数が増えているのか。

福部委員A：世帯分離が影響している。自治会でも問題視している。

(2) **意見交換**

① **産業・観光振興について**

国府委員B：昨年のらっきょう生産量の減少は何か原因があるのか。

福部事務局：不作によるもの。しかし、単価は過去最高となり農産物地理的表示保護制度（GI）登録の効果は着実に表れてきているものと考えます。

国府委員C：県西部の外国人観光客が県東部まで来ていないようだが、砂丘のにぎわいはどうか。

福部委員A：境港周辺の観光地は大型客船の入港でにぎわっているが、その効果は東部では実感できていない。山陰道が開通すれば便利になるので、早期の開通が望まれる。

国府委員C：県西部から県東部への誘客については、国府・福部地域の問題に留めず、県東部全体の問題として提言していくなど、取り組みを進めてほしい。

福部委員A：県東部への誘客を県東部全体の問題として提言していくように、まずは国府地域と合同で検討を開始したいと考える。

福部事務局：砂丘他の観光入込客数のデータについては、本課に確認して後日提供します。

国府委員D：福部町清内谷集落の棚田の活用について、何か取り組みを行っているか。

福部事務局：以前はグリーンツーリズムに関する交流イベントを行っていましたが、現在は休止中です。今後、取り組みを再開したいと考えます。

②新たな拠点づくりの推進について

特に意見はありませんでした。

③防災対策について

国府委員E：福部町総合支所周辺は、昔はよく水に浸かっていた。最近の状況はどうか。

福部事務局：塩見川河川改修事業の進捗で川幅が広がり、近年、浸水被害は軽減されました。

④防犯対策について

国府委員E：長年の課題だった集落間の防犯灯対策に、どのような方法で目途をつけられたのか。

福部委員B：まちづくり協議会と自治会が協働で事業を申請し、集落間の概ね80mに1基の割合で計43カ所の防犯灯を新設することとした。

⑤新たなインターチェンジを利用したまちづくりについて

福部委員A：新たなインターチェンジの設置は、国府地域の人にとっても利便性の高まることなので、ぜひ、取り組みを一緒に進めていただきたい。

国府委員B：現行の福部インターチェンジは、国府地域の人にはほとんど役に立っていない。新たなインターチェンジの名称を「砂丘インターチェンジ」にするなど、設置の取り組みを進めてほしい。

⑥岩美広域農道の産業観光面での活用

国府委員F：旧美敷水源地水道施設は昨年10月にグランドオープンした。冬場でも入場できるので、ぜひ、見に来てほしい。

国府委員D：岩美町の道の駅「きなんせ岩美」に設置の案内看板には、国府・福部の観光地が紹介されていない。近隣の観光地も紹介するよう働きかけてほしい。

福部事務局：岩美町役場へ問い合わせします。

⑦その他

国府委員C：先日のニュースで、岩美町が中学3年生の給食で松葉ガニをふるまっていた。受験生を応援するという意味合いや、郷土愛を育むという意味合いのもとでの取り組みだと理解した。国府・福部地域は学校給食センターが同じだと聞くが、岩美町と同じような取り組みが両地域でもできないか。

福部委員A：福部地域には「給食を食べる会」というのがあり、年1回、保護者と生徒が合同で給食を食べている。岩美町の取り組みなども参考にしたい。

以上